

# Rapid シリーズ

## ~ Ver9 の主な新機能のご紹介 ~

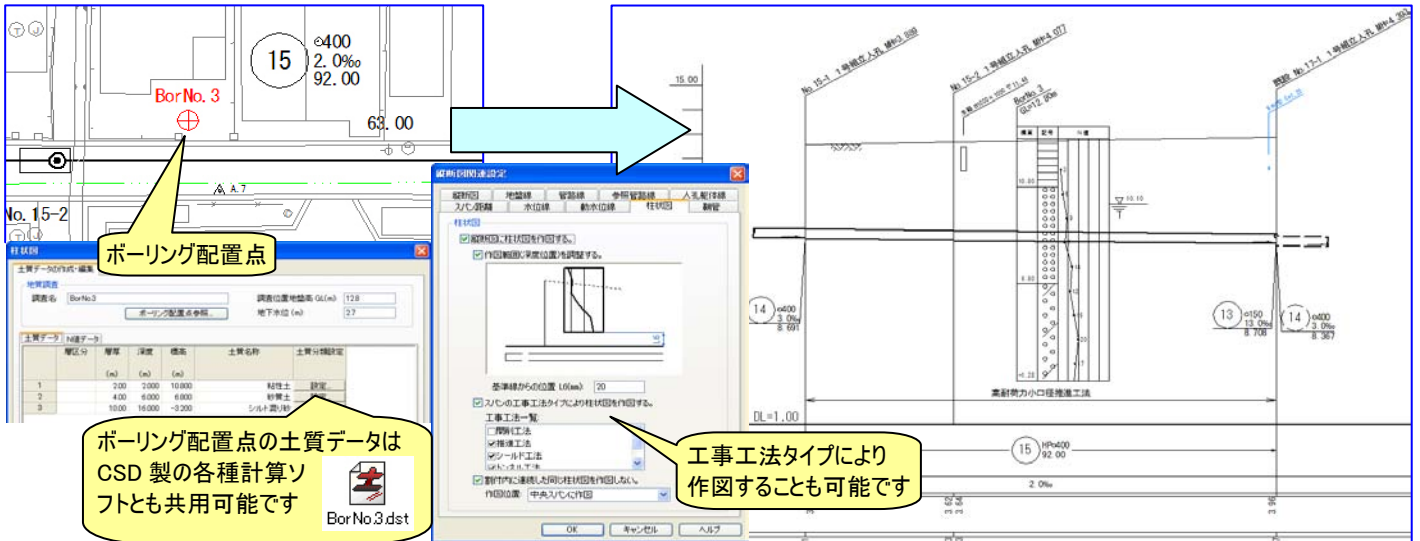
Pipe Rapid, Civil Rapid, Rapid Draw は、「Windows7」への対応、新機能の搭載、および更なる操作性の向上を図り、この12月22日に、ついに Ver9 をリリースしました。

以下に、Ver9 で追加された主な新機能についてご紹介いたします。この機会に是非バージョンアップをご検討ください。

### Pipe Rapid

縦断面図への土質柱状図自動作図機能の追加 ※要[路線平面系統作成機能]

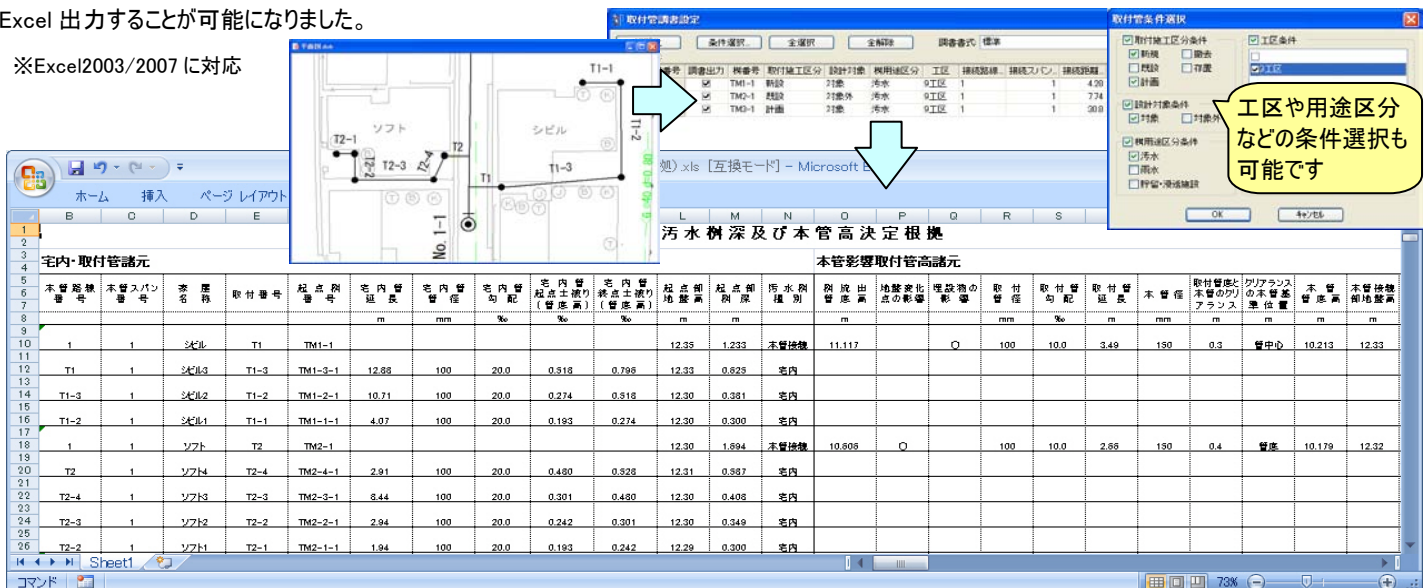
平面図内に土質情報を設定し作成したボーリング配置点をエクスポートし、縦断面図に土質柱状図を自動作図することが可能になりました。



取付管調書(樹深根拠)出力機能の追加 ※要[路線平面系統作成機能]

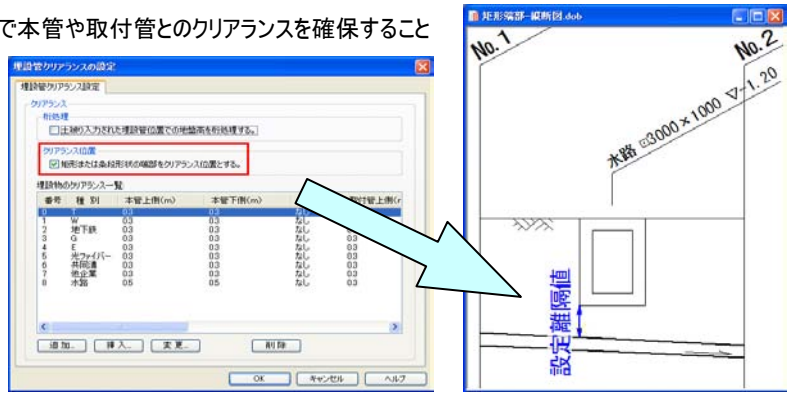
平面図内に作成された取付管を指定し、屋外排水管、および取付管の樹深決定根拠や、埋設物横断、地盤変化点による影響などを調書として Excel 出力することが可能になりました。

※Excel2003/2007 に対応



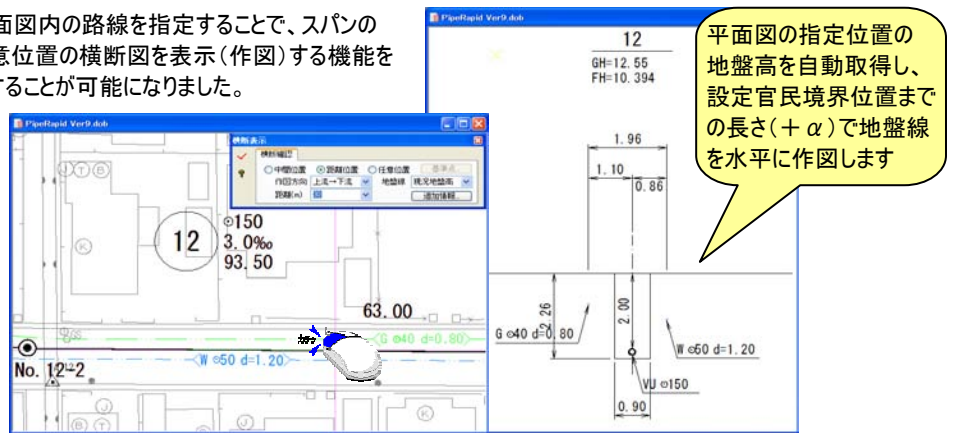
## 矩形・条段形状地下埋の端部での離隔考慮機能の追加

矩形または条段形状地下埋設物の幅を考慮し、埋設物端部で本管や取付管とのクリアランスを確保することも可能になりました。



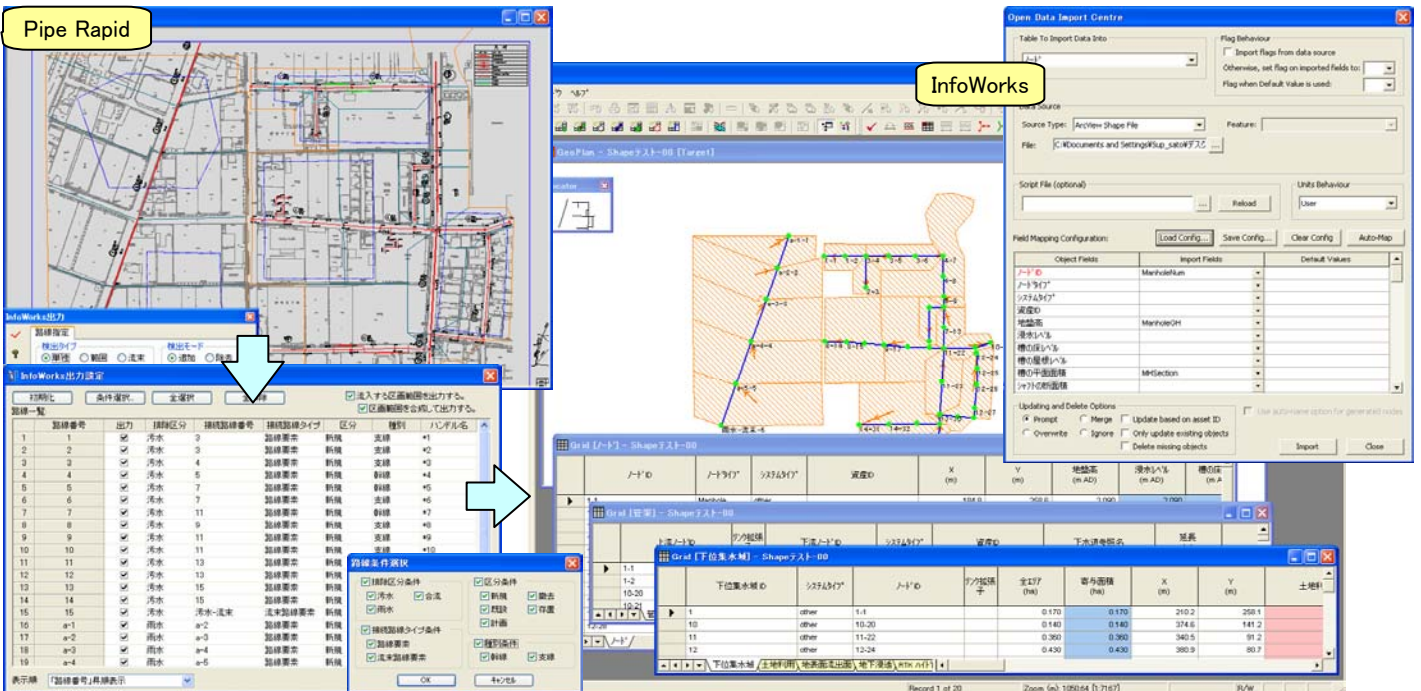
## 簡易操作による横断表示機能の追加 ※要[路線平面系統作成機能]

従来から有る路線横断面図作成機能に加え、平面図内の路線を指定することで、スパンの中間位置、人孔からの指定距離位置、および任意位置の横断面図を表示(作図)する機能を追加し、埋設物との近接状況などを簡単に確認することが可能になりました。



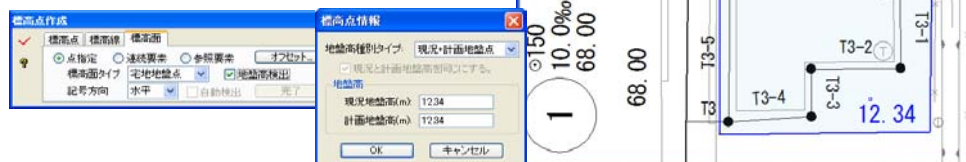
## InfoWorks でインポート可能な SHP ファイル出力機能の追加 ※要[路線平面系統作成機能]

雨水流出解析ソフト「InfoWorks」においてインポートすることが可能なシェープファイル(SHP)を出力することが可能になりました。



## 標高線・標高面設置機能の追加 ※要〔路線平面系統作成機能〕

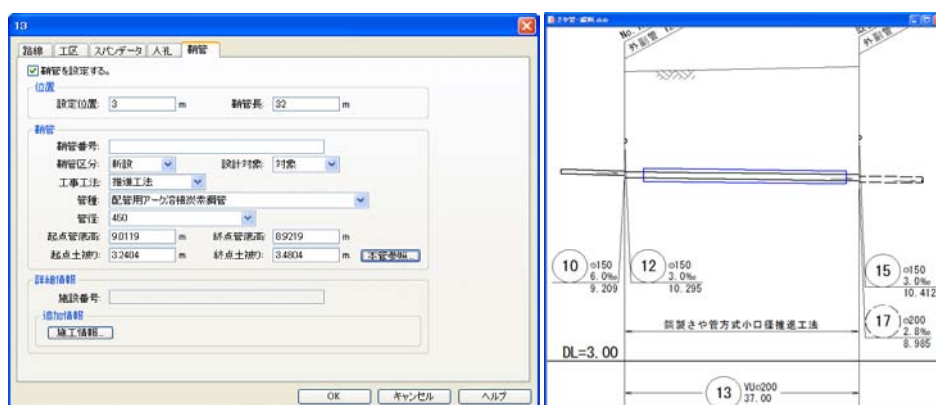
従来から有る標高点作成・編集機能に加え、平面図内に、二点間範囲で標高を管理する標高線、およびポリゴン範囲で標高を管理する標高面の作成・編集を行い、標高線では地盤変化点を また標高面では地盤点・宅地地盤点をそこから取得することが可能になりました。



## 縦断面図へのさや管作図機能の追加

路線単位でさや管を設定し、縦断面図にも作図することが可能になりました。

さや管の深度位置については、本管位置を参照し中心配置することも可能です。



その他にも・・・

- ◆ 平面図内の取付管形状に、[上流からの接続位置]、および[下流からの接続位置]を追加しました。
- ◆ 縦断面図帯枠の空欄タイプにも、人孔位置での区間線作図が可能になりました。
- ◆ [動水位一覧]に[水面波形]の項目を追加し、タイプ判定が可能になりました。
- ◆ 平面図や縦断面図内の路線属性(色彩・線種・線厚など)を排除区分や流下方法などで分別して設定することが可能になりました。
- ◆ 取付管データの中に、再構築情報を設定することが可能になりました。
- ◆ 平面図内の区間形状などの縦配置時における、配置タイプの設定機能を追加しました。



# Civil Rapid Rapid Draw Pipe Rapid ~共通~

## Windows7 に対応

Windows7 における描画方式などに対応しました。 ※32bit 版にのみ対応

### ◆Windows7動作対応確認表◆

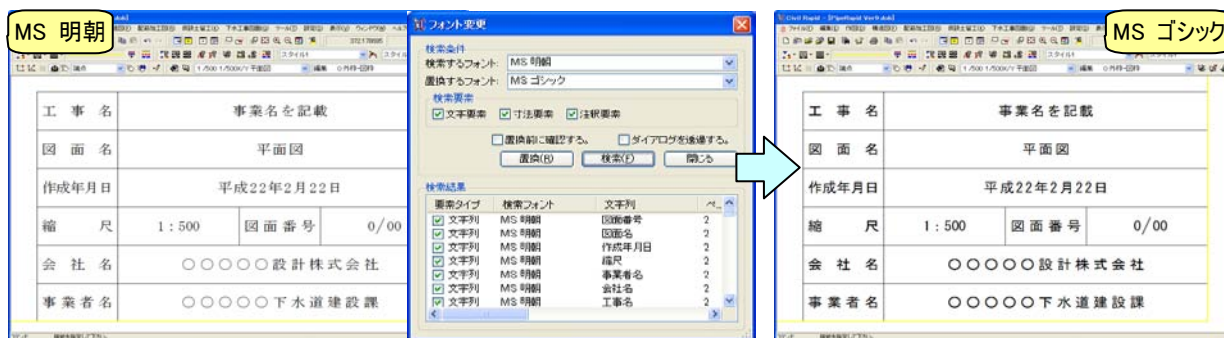
凡例	
○	確認済み
—	確認作業中
—	該当なし

商品名	対応バージョン	チェック項目																
		インストール		動作確認														ヘルプ起動
		NetManage	スタンドアロン	ファイルOpen		新規作成		計算		印刷		Excel出力		保存		システムデータの編集・保存		
Admin	Admin	Admin	User	Admin	User	Admin	User	Admin	User	Admin	User	Admin	User	Admin	User	Admin	User	
<b>Rapidシリーズ</b>																		
Pipe Rapid	Ver.900(R1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Civil Rapid	Ver.900(R1)	○	○	○	○	○	○	—	—	○	○	—	—	○	○	○	○	○
Rapid Draw	Ver.900(R1)	○	○	○	○	○	○	—	—	○	○	—	—	○	○	○	○	○

## フォントの検索・置換機能の追加

図面内の文字要素、寸法要素、および注釈要素を対象として、指定した文字フォントを検索し、指定した文字フォントに置換することが可能になりました。

検索結果による置換対象を複数選択でき、一度に複数の文字フォントの置換が可能です。



その他にも・・・

- ◆ 点移動, 要素移動, およびパラメトリックコマンドによる配置点指定時に、オフセット指定が可能になりました。
- ◆ 放射注釈線要素についても、引き出し線の引き出し方向の変更が可能になりました。
- ◆ 注記タイプ文字列の対称移動, および対称複写時に、文字並びを保持するように仕様変更を行いました。
- ◆ 切断コマンドによる要素分割時に、要素の連続指定による一括切断が可能になりました。
- ◆ 指定した円や円弧要素の円周上に、延長モードによる円弧を作図することが可能になりました。

## お問い合わせ



株式会社シビルソフト開発  
CIVIL SOFT DEVELOPMENTS CO.,LTD

上記に関しましては、弊社営業所(東日本営業所・西日本営業所)までお問い合わせください。

東日本営業所: 〒101-0026 東京都千代田区神田佐久間河岸 67 MBR99ビル 3F TEL:03-5833-2405 FAX:03-5833-6375  
西日本営業所: 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 6-1-3 アストロ新大阪第2ビル 13F TEL:06-6307-1360 FAX:06-6307-9469